

- 問1 源頼朝の直系の将軍が途絶えた後の鎌倉幕府において、北条氏が「執権」として実権を握り続けた背景や仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 北条氏は守護や地頭の任命権を独占するため、将軍を完全に廃止し、執権を唯一の最高指導者とする新しい幕府の仕組みを構築した。 | 2. 将軍の権威が失墜したため、北条氏が執権という新たな将軍に代わる最高権力者の称号を朝廷から認めさせた。 | 3. 将軍を形式的な存在として残し、北条氏が執権の地位から幕政を統括することで、御家人たちの反発を抑えつつ支配を正当化した。 | 4. 執権はもともと天皇を補佐する職であったが、北条氏が幕府内にこの制度を導入することで、朝廷の権力を幕府に取り込もうとした。 |
|---|---|--|---|
- 問2 鎌倉時代、東大寺南大門に安置された木造彫刻は、筋肉隆々で写実的な表現がなされており、当時の武士の気風を反映しているとされています。運慶や快慶らが制作した、この力強い彫刻の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|----------|-----------|------------------|
| 1. 弥勒菩薩半跏思惟像 | 2. 金剛力士像 | 3. 阿弥陀如来像 | 4. 平等院鳳凰堂阿弥陀如来坐像 |
|--------------|----------|-----------|------------------|
- 問3 平安時代末期から鎌倉時代初期における次の3つの出来事について、年代の古い順に正しく並べ替えたものを1つ選びなさい。
ア：白河上皇が院政を始める。 イ：源頼朝が国ごとに守護、荘園や公領ごとに地頭を設置する。
ウ：平清盛が武士として初めて太政大臣に就任する。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. イ → ア → ウ | 2. ア → イ → ウ | 3. ア → ウ → イ | 4. ウ → ア → イ |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
- 問4 元寇の際、博多湾に防塁を築くなどの防衛策を指揮した人物と、その拠点となった場所の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|-------------------|------------------|------------------|
| 1. 北条時宗 - 博多湾の沿岸 | 2. 足利尊氏 - 瀬戸内海の沿岸 | 3. 源頼朝 - 志摩半島の沿岸 | 4. 北条泰時 - 相模湾の沿岸 |
|------------------|-------------------|------------------|------------------|
- 問5 1185年、源頼朝が朝廷から設置の許可を得て、全国の支配を強めるために置いた役職について、その配置場所と役割の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 荘園や公領ごとに置かれた守護が土地管理を担い、国ごとに置かれた地頭が軍事・警察を担った | 2. 国ごとに置かれた守護が軍事・警察を担い、荘園や公領ごとに置かれた地頭が年貢の徴収や土地管理を担った | 3. 藩ごとに置かれた守護が年貢の徴収を担い、村ごとに置かれた地頭が警察権を行使した | 4. 国ごとに置かれた守護が検地を行い、荘園ごとに置かれた地頭が武士の教育を担った |
|--|--|--|---|
- 問6 鎌倉時代、源頼朝が全国に設置した「守護」と「地頭」の役割について、正しい説明はどれか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 守護は江戸幕府が藩を監視するために設置し、地頭はキリスト教の取り締まりを主な任務とした。 | 2. 守護は年貢の徴収や土地の管理を専門に行い、地頭は幕府の最高評議機関として政治の指針を決定した。 | 3. 守護は海外との貿易を管理するために港に置かれ、地頭は全国の戸籍を作成するために村ごとに置かれた。 | 4. 守護は国ごとに置かれて軍事・警察を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収などを行った。 |
|---|--|---|--|
- 問7 13世紀の歴史的な出来事を整理した年表において、鎌倉幕府の成立から承久の乱を経て、武士による政治（武家政治）が確立されていく過程を示す具体的な出来事として最も適切なものはどれか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|--|
| 1. 足利義満が明との間で勘合貿易を始め、経済的な基盤を固めた。 | 2. 徳川家康が江戸幕府を開き、武家諸法度を制定して大名を統制した。 | 3. 聖徳太子が冠位十二階を定め、才能ある人材を役人に登用した。 | 4. 北条泰時が武士の慣習をまとめた御成敗式目を制定し、裁判の基準を明確にした。 |
|----------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|--|
- 問8 鎌倉幕府から江戸時代にかけて、将軍や戦国大名などの主君が、家臣に対してそれまでの領地の支配を認めたり、新しい土地を与えたりする一方で、家臣は主君のために軍役や番役などの奉公を行うという、土地を仲立ちとした結びつきを何といいますか。 (2023年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 公地公民 | 2. 主従関係 | 3. 班田収授 | 4. 中央集権 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 将軍と武士の主従関係において、将軍が武士に対して「土地の支配を認める」といった働きかけを行った際、武士がその見返りとして将軍に対して行うべき行動として最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 戦が起きた際に軍勢を率いて参戦したり、京都や鎌倉の警備を担ったりする | 2. 領地で収穫された年貢のすべてを、幕府を通さず直接天皇へ献上する | 3. 下の身分の者が実力で上の身分を倒し、自らが支配者の座に就く | 4. 外国との貿易を独占し、得られた利益をすべて将軍に寄付する |
|---------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
- 問10 鎌倉時代の第3代執権として、承久の乱のあとに日本初の武士独自の法典である「御成敗式目（貞永式目）」を制定し、武家政治の基礎を固めた人物は誰ですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 北条政子 | 2. 北条泰時 | 3. 源頼朝 | 4. 北条時宗 |
|---------|---------|--------|---------|
- 問11 1221年、鎌倉幕府の三代将軍である源実朝が暗殺された後の政治的混乱に乗じ、幕府を倒して朝廷の権力を取り戻そうと兵を挙げた人物として正しい人名を選びなさい。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 1. 後鳥羽上皇 | 2. 白河上皇 | 3. 後醍醐天皇 | 4. 後白河法皇 |
|----------|---------|----------|----------|
- 問12 鎌倉時代の社会の様子や民衆の生活を描いた『一遍上人絵伝』には、備前国の福岡（現在の岡山県）において、月3回開かれる「定期市」で人々が取引を行う場面が描かれています。この絵巻物の題材となった、時宗の開祖は誰ですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 親鸞 | 2. 栄西 | 3. 一遍 | 4. 空海 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問13 北条泰時が独自の法典を制定した背景には、当時の御家人の状況に関する悩みがありました。泰時が法典を必要とした理由として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 当時の御家人たちは難解な律令の内容をほとんど理解しておらず、裁判の基準が不明確であったから。 | 2. 徳政令を頻繁に出すことで、借金に苦しむ御家人の領地をすべて幕府が没収しようと考えたから。 | 3. 朝廷が定めた律令を全国の農民にまで徹底させ、武士の権威を否定する必要があったから。 | 4. キリスト教の布教を制限し、外国の影響を排除するための厳しい罰則が必要だったから |
|---|---|--|--|